

小平・村山・大和衛生組合

ゼロカーボンに取り組む 小平市・東大和市・武蔵村山市と

電力の地産地消で協定を締結



3市の公共施設で年間 3,760t のCO2削減※

令和7年10月から本格稼働する新ごみ焼却施設で発電する温室効果ガスを排出しない電力の一部を3市の庁舎や小学校などへ供給する電力の地産地消に取り組むため、協定締結式を実施しますので、ぜひ取材いただきますようよろしくお願い致します。

小平・村山・大和衛生組合のごみ発電を活用した電力地産地消事業協定締結式の概要

【日時】 令和6年5月29日(水) 9時30分～9時45分

【場所】 小平・村山・大和衛生組合 新ごみ処理施設建設現場(発電機前)

〒187-0033 小平市中島町2番1号 ※ヘルメット着用

【署名者】

管理者・小平市長 小林 洋子

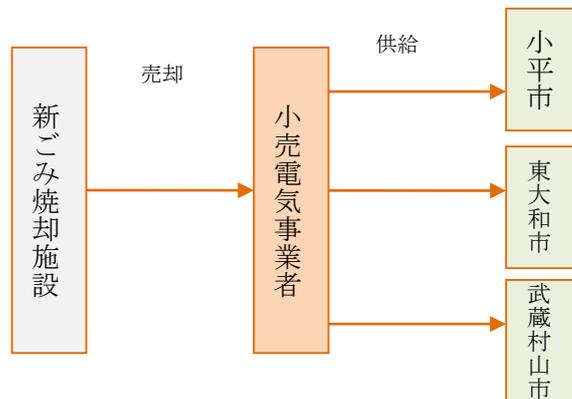
東大和市長 和地 仁美

武蔵村山市長 山崎 泰大

事業の概要

3市から出るごみの焼却熱を利用した電力を 小売電気事業者を介して、3市の公共施設へ供給

事業イメージ



電力の供給先と予定供給量

【小平市】 29施設・約557.8万kWh/年 市庁舎、市立小・中学校など

【東大和市】 13施設・約241.0万kWh/年 市庁舎、市立小学校など

【武蔵村山市】 9施設・約201.2万kWh/年 市庁舎、市立小学校など

温室効果ガスの(CO2)の年間削減見込み量

【小平市】 約2,097t

【東大和市】 約906t

【武蔵村山市】 約757t

【問合せ先】

小平・村山・大和衛生組合

総務課 担当：入澤

電話：042-341-4345

E-mail：info@kmy-eiseikumiai.jp

※CO2削減については、東京電力エナジーパートナー株式会社の2022年のCO2排出係数を使用して算出。